

一般貨物自動車運送業における木材、竹材を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	19~20	営業所内でトラックの荷台片付け中に、リン木で足を踏み外し、左足首を捻った。	48	10~29
1	11~12	走行中に荷台の角材が荷崩れを起こしそうになっているのに気づき、広い場所に停車して直す作業をしている際、締機を材木に回し振り返り、左足を軸に左回りに右足を前に踏み出したところに角材があり、足が滑り急に前後に開脚して、右足太腿の血管を痛めた。	64	30~49
2	6~7	店の玄関口で店先の看板の位置を直している時、約2.5cmの段差上段に左足小指側だけ乗せてしまい、体重を左足小指一点にかけてしまった結果、骨折した。	48	10~29
2	19~20	木材市場の土場にてトラック荷台より丸太4本をグラップルにて降ろしてもらい丸太を整えるためトラックの上に上がって丸太にトビを打って引っ張ったところ丸太にトビが深く刺さっておらず外れ後ろに足から落下したと思われる。	38	1~9
2	9~10	土台代引を車の横に置いて、その横を通っていた時、左足が金具に引っかかり転倒し、左足の膝下辺り、5cm程深く切り、縫った。	49	30~49
2	9~10	倉庫内でリン木を片付けていたところリン木に躓いて、背中から転んだ。その時背中を打って肋骨1本を骨折した。	63	30~49
		会社整備工場にて、車のタイヤ交換の為、定位置に駐車し、座席から降りる際、タ		30

2	15~16	イヤの歯止めに使用していた角材に足が引っ掛かり、転倒し、その時、左足を捻ってしまい、左足首の負傷となった。	49	~ 49
3	23~24	夜間の荷降ろしのあと荷台から飛び降りたとき、暗くて下が見えず荷締めを使用していた角材の上ののってしまい、靭帯損傷を負った。	49	1~ 9
3	8~9	材木積み込み土場でトラックに荷物（材木）を積み込み中、クレーンで材木をつり上げたところ、材木が振れてほかの材木にあたり、その材木が足に接触して怪我をする。	65	1~ 9
3	15~16	材木を降ろす際はガッチャをゆるめワイヤをはずすのだが、材木の太さ長さの違いもあり、すでに落ちそうになっていた4mの材木が荷台から落下した。	60	10 ~ 29
3	4~5	トラック荷台にて資材（コンパネ、発泡等）を片付け作業中、誤ってコンパネの端を踏み、左足首をひねった。	46	10 ~ 29
3	9~10	3ヤード内に於いて、荷造りに使用する材木の束をトレーラー据付の道具箱から取り出し、荷台上に上げる作業中、そのうち数本が束から抜け落ち、左足小指を直撃した。安全靴を使用していたが、つま先の鋼板部分から外れた位置にある小指に当たり骨折した。	54	10 ~ 29
4	21~ 22	トラックの荷台で積み荷を固定しようと木箱（257×102×25cm）を飛び越えようとした際、木箱に足をひっかけ転倒し、右足首外側くるぶし下を剥離骨折をした。	49	10 ~ 29
4	14~ 15	会社構内のストックヤードに於いて商品のサイズを確認の為、商品の側面より商品に足を掛け、3段目の商品を確認していた所商品に掛けた足が滑りそのままの態勢で地面に着地した際に左足が台木の上に乗る、足首を捻ってしまい受傷した。	56	30 ~ 49
5	15~ 16	会社倉庫にて、セミトレーラー台車上で次の積載荷物の段取り作業中に、台木1本を持ち上げて移動していたところ、他の台木に躓きバランスを崩し右足安全靴前方に台木を落下させてしまい、足の指を骨折した。	32	10 ~ 29
5	11~	建設現場でデッキ台を運んでいる時、物が重く長さもあったため、右手首を痛めて	41	1~

	12	しまった。		9
5	10～ 11	納品作業中、トラック庫内で荷卸し作業をしていた時、庫内の一番前の壁に立て掛けてあった板（約90cm×約180cm）が倒れてきたことに気付かず背中に当たり転倒した。その際、膝に体重がのった状態で床にぶつかり、左膝蓋骨骨折を負った。かなりの痛みがあったが業務を終え、その後、立つことができなくなった。	41	30 ～ 49
5	21～ 22	事業先で、製品の梱包に使用したコンパネ（縦1.8m×横1m、重量10kg位）を車両の前部荷台の壁に立て掛け、動かないように車両に固定されているバンドを引っ張った時に固定されている片方のフックが外れ、そのはずみで尻もちと両手を床につき、その時にコンパネ7枚が前方に倒れ、左手の指に落ちて骨折した。	42	30 ～ 49
6	14～ 15	当社木材集積場にて手で木の皮の整理をしていた際、木の皮のとげが右手薬指に刺さり、当初は異常が無かったが、日ごとに指が腫れて痛みを伴ってきた。	74	10 ～ 29
6	10～ 11	工場構内でコンクリート二次製品2個を荷卸中、1個目を卸し、2個目を卸している中、荷台にあった台木（3寸角）の上によってバランスを崩し、地上に落下し、1個目のブロック角に強打し負傷した。	53	1～ 9
6	9～ 10	配達先にて、荷降後の荷台の片付け作業中、コンパネを留めてあったラッシングベルトの捻じれを直そうとベルトを外した際、立て掛けてあったコンパネ20枚が倒れ、左足が挟まり負傷した。	43	30 ～ 49
6	8～9	製材所にて、おが屑専用タンクからトラックにおが屑を積み込んでいる時、何らかの要因でトラックの荷台のおが屑に埋もれているところを、製材所の方に発見された。	53	10 ～ 29
6	9～ 10	倉庫の卸し場にて、トラック荷台の中で荷物（ロールカーペット）を荷卸し中、トラック前方に立て掛けておいたコンパネが、ロールカーペットの本数が少なくなってきた頃、倒れないと思っていたが、トラック後方を向いてラックに積み上げる作業をしていた被災者の後方に倒れて来て、コンパネと荷物に頭を挟まれた。その際にメガネが割れ、左目と周辺を負傷した。	59	30 ～ 49
		配達先にて配達物の木材（30～40kg程度）を荷受人と一緒に持って運んでいた		10

7	9~10	所、荷受人が木材を落とし、その反動で本人も木材を落下させ、左足親指付け根にあたる。（安全靴は着用していた。）	32	~ 29
7	10~11	被災労働者が荷降ろし先である、新築現場に於いて運搬してきたプレカット材を降ろし終えたところ、位置を数十cmずらして欲しいとの要請があり、5段重ねしたプレカット材（重さ約1.5t）に平ロープを掛けクレーンにより約20cm上げたところで、台木（6cm角）を動かすために手を入れた瞬間、平ロープを掛けていたほぞ（雄部）が折れ、プレカット材と台木の間に左手拇指爪部が挟まれて受傷したものの。（被災労働者は軍手を着用していた）	63	1~ 9
7	13~14	車庫にて資材を片付けようとして、立て掛けてあったコンパネのラッシングを外し、5枚程を倒れないように角度をつけて、1枚を後方へ移動させた時、残りの4枚が自分の方に倒れてきたため押さえきれずトラックボディの外に投げ出され、転落時に右肘を着いてしまい骨折した。	46	10 ~ 29
7	11~12	梱包作業中にラベルを事務所へ取りに行く際、近道しようと通路ではない場所を通り通路との境目のある柵を跨ごうとして柵に右足が引っ掛かり転倒した。転倒の際、床に右肩部及び右腰部を強打し大腿骨骨折、股関節骨折と診断される。災害当日は、会社から診察を勧められるが、様子を見て診察しようと当日は早退し帰宅。翌日痛みが引かなかった。	26	30 ~ 49
7	9~10	荷物を積み込み出発し、翌日朝荷降ろし作業の後、トラックの荷台の片付けをしている時に、緩衝材に使うベニヤ板が倒れ左足ふくらはぎ・甲に当たり負傷した。（会社へ帰る道中腫れてきた）	23	10 ~ 29
7	20~ 21	トラックターミナルで荷物の積込中、トラック荷台内（箱車）の壁にビニール紐で固定してあった養生板（ベニヤ板）をずらそうと紐を引っ張っていたところ、紐が勢いよく切れ、その衝撃で右肩を痛めたものである。	54	50 ~ 99
7	6~7	荷物を積み込むため10tウイング車の後ろの観音扉を開けたとき、コンパネ数枚が左足の上に落下し、左足の親指・人差し指・中指を骨折した。	38	—
7	11~ 12	建設現場にて、建築資材（石膏ボード）を車両荷台より数枚ずつ現場へ担ぎ入れ、荷降ろし作業を行っているとき、背中に石膏ボードを背負い、後ろ手で支えて運んでいたところ、突然力が抜け、肩が落ちるような感覚で、右手の力が入らなくなっ	47	300 ~

		た。		499
7	14~ 15	現場にて、トラックの荷台に上がって積み込んだ材木（丸太）を荷締める作業中、フックをトラックに掛けようとしたとき、雨で材木が濡れていたため足元が滑り、3m下の地面（道路）に体の右側から落ち、肋骨を骨折した（右側6本）。	42	1~ 9
7	7~8	被災者は、当社倉庫の前で4tトラックに荷物を積み込む作業をしていた。積み込み終了後、シートを掛け終わり、荷台から下りたときに、下に置いていた角材の上に左足が乗っかり、足首を捻り負傷した。	63	30 ~ 49
9	12~ 13	配送先にて1梱包20kg程度のフロア材を2梱包肩にかついで高さ1m位のフロア材の上に降ろそうとした際、左手中指をフロア材に挟んで負傷した。	42	10 ~ 29
9	16~ 17	当社従業員は、当社構内にて荷締めの作業を終了し、積荷から荷台へ降りた際、下に台木がありその台木に足がかかってしまい右足首をひねって負傷した。診断結果は右第5中足骨骨折である。	47	50 ~ 99
10	9~ 10	材木搬入現場で、1階から2階の材木（長さ約80の角材）を手渡していたところ、2階の大工さんが手を滑らし角材が1階へ落下した際、顔（おでこ）にあたり、打撲した。	38	10 ~ 29
10	21~ 22	引越作業中、部屋にあるダイニングテーブルを搬出する為、解体し天板を持ち上げた際スライド式の日板だった為、伸びた天板を誤って右足の小指に落としてしまい内出血した。しばらく様子を見たが腫れがひどくなった。（天板の大きさ円形直径1m重さ10kg以上）	32	10 ~ 29
10	12~ 13	営業所車庫にて積込準備中、重ねてあったコンパネを1枚取ろうとした際2枚目のコンパネも同時に動き落下し右足脛付近に当たり受傷した。	52	10 ~ 29
10	9~ 10	建築現場にて、資材納入時のトラック荷台上にて、長物の角材の荷卸作業を現場作業員と協力して行っていた所、角材の角で左手小指を切った。ゴム手袋はしていた。	54	10 ~ 29
				50

10	15～ 16	現場の倉庫でトラックの荷台に有るコンパネ（木のボード）を1枚ずつ降ろす時に数枚が滑り落ちて来て左足の背部を打撲した。	41	～ 99
10	14～ 15	会社構内で積み込みの準備のためウイング右側を開けトラック荷室内でコンパネを荷室前方から左後方へ数日に分けて運んでいた際に荷室左後方の使用したラッシングベルトが外れコンパネが倒れてきた。押され左形で荷室右側から転落負傷した。	62	50 ～ 99
11	17～ 18	第5製造所の合成樹脂設備の蒸発器缶出タンクの内容物が異常反応したため、タンク全体が固形物で満たされていた。固形物を取り除くために4名で缶出タンク側面にあるマンホールの開放作業を進めていたところ、マンホールから内容物が急激に噴出し、作業をしていた4名および周辺で作業していた1名が負傷した。	35	100 ～ 299
11	9～ 10	資材（木枠）を荷おろし作業中、資材が崩れその下になり右手人差し指中指骨折、左頬左肩左膝打撲負傷した。	59	10 ～ 29
11	23～ 24	車庫で荷物の点検のため、トラックの横のあおりを開け点検中、荷物の木材がバランスを崩してボディーから地面に落ちる途中、右足太ももに当たり負傷した。	57	1～ 9
11	14～ 15	待機場所で搬入待ちしている時に、トラックの荷台を片付けようと、後方の扉を開けて、扉付近のベニヤ板を前方に倒そうとしたところ、ストッパーのベルトが外れており、ベニヤ板（10枚）が自分の方に倒れて来たので頭を守るためベニヤ板を支えようとして、左手人差し指・中指を負傷した。	64	10 ～ 29
11	14～ 15	引越荷降作業中、トラックに積んだコンテナ内の荷出しを行っている最中、ベッドマットの間に挟んで積み込みされていた机の棚板が落下しそうになった為、落下を防ごうと咄嗟に右足で受け止めようとした。その際棚板の角が右足に直撃し、爪及び右足親指に打撲を負った。	32	100 ～ 299
11	11～ 12	会社の車庫で、トラックの荷台の上で道具の片付け中、りん木の上に誤って足が乗り、右足首を捻挫した。	41	10 ～ 29
		荷卸工場にて、荷卸の準備の為、車輛荷台後部扉を開けた際、後部に積んでいた緩		10

11	7~8	衝材（コンパネ20枚）が落下してきて、転倒し、腰を強打した。〔再発防止対策〕アオリ、扉を開ける時は荷台上の状況を目視してから、ゆっくりと開ける。	28 ~ 29
12	8~9	構内で、積荷の合板を降ろしていたところ、右足の親指の上に落下し骨折した。	30 67 ~ 49
12	10~11	路上にてトラックから荷降ろし作業中に、トラック後部の観音扉を開けたところ、コンパネが足元に落下し、足の指を骨折した。原因は、走行中に内部に固定して立て掛けてあったコンパネが傾き、固定しているラッシングバーをすり抜けたこと、注意深く観音扉を開けなかったこと、および安全靴に履き替えていなかったことにある。	10 49 ~ 29
12	10~11	1号倉庫内で荷下ろし作業中、2人1組での作業で、相手方作業員が枕木を押したため、枕木と鉄板との間に右手親指が挟まり、右手親指の腱断裂および骨折をした。	30 55 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html